

(様式3)

事業所名 やすらぎホーム 希望の家

## 目標達成計画

作成日: 平成 31年 2月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	認知症の進行が著しく、不穏状態にある利用者による発語や行動により、認知症の進行がある他利用者も同様に不穏状態に陥ってしまう。	不穏状態での発語や異常な行動があった場合は、違う話題や軽作業等の提供にて、本人の不安な気持ちを和らげて、落ち着いた生活を送っていただく	全ての会話が、不安な事に集約されており、話し掛けられた他利用者も何度も言われると同じ様に不安を訴え始めるので、何かをしている時は、落ち着いている事が多く、黙って居る時間を少なくし、手伝い等をする事で、役に立っている事を実感して頂く様に支援をする。	12ヶ月
2	53	高齢化が進み、身体的低下・脚力等の低下が著しく、ラジオ体操や立ち上がり体操などにより、現状の維持に努めているが、転倒等の恐れが増して来ている。	毎回欠かさず体操等を行ってくれる利用者は、それなりに脚力が維持出来ているので、声掛けしてもなかなか行わない利用者も一緒に出来る様になって、脚力の維持に努める事で、転倒の恐れを少しでも無くしたい。	体操等、やらないからと捨て置かず、常に声掛けを多くしたり、目の前で行う事で少しでも自ら行って頂く様にします。歩行時は、常に見守り、時に一部介助をします。居室内での転倒も多く、巡回を多くし、危険の防止に努めます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。